



杉並区はこのたび、「杉並区基本構想(10年ビジョン)」を踏まえ、「杉並区総合計画(10年プラン)」と「杉並区実行計画(3年プログラム)」を策定いたしました。

ヨーロッパ諸国の信用不安等の影響による厳しく先行き不透明な経済動向や急速に進展する少子高齢化、さらには、東北地方を中心に今なお大きな爪痕が残る昨年の東日本大震災など、区政を取り巻く社会経済状況は大きく変化してきています。こうした中で、杉並区が良好な住宅都市としてさらに発展していくためには、改めて、区民と区が共有する将来像を定める必要があると考え、平成24年3月、議会の議決を経て、「杉並区基本構想(10年ビジョン)」を策定いたしました。

基本構想では、「支えあい共につくる 安全で活力あるみどりの住宅都市杉並」を、私たちが目指す10年後の杉並区の将来像として定め、将来像を実現するために5つの目標を設定しました。

この基本構想を踏まえ、その実現の道筋として策定したのが、「杉並区総合計画(10年プラン)」と「杉並区実行計画(3年プログラム)」です。総合計画(10年プラン)は、基本構想が掲げる5つの目標に沿った施策と10年後の目標、そしてそれを達成するための主な取組を明らかにしたものであり、実行計画(3年プログラム)は、総合計画に掲げた施策を推進するための財政の裏付けを持った平成24年度から26年度までの3年計画として策定したものです。

基本構想を実現するためには、総合計画と実行計画を着実に推進していくことが不可欠であり、今後しっかりと進行管理に努め、毎年度、区民の皆様に達成度や進捗状況を公表しながら、目標達成に向けて全力で取り組んでまいります。

どうか、区民の皆様の区政へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成24年(2012年)4月

杉並区長 田中 良